

## 他市町村先進地視察研修実施要項（案）

### 1 視察目的

本年10月末に策定・公表された「普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略」の加速化に向け、特にも、「地域への新しい人の流れをつくる」という基本目標の達成のため、地域資源を活かした施策展開により人口抑制・増加を図る先進的取組みを推進する他市町村を視察する。普代村まち・ひと・しごと創生推進会議においての検証・評価の参考とするとともに、先進的取組みを今後の施策立案に活かし、「普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略」の効果的な事業推進につなげることを目的とする。

### 2 視察日程

平成28年3月15日（火）～19日（土）の期間内

### 3 視察参加対象者及び参加人数

#### (1) 参加対象者

普代村まち・ひと・しごと創生推進会議、普代村地域創生人口減少対策本部、普代村地域創生研究会、議会議員

#### (2) 参加人数

1市町 5人程度

### 4 視察市町村選定箇所

#### (1) 島根県海士町（あまちょう）

〔視察日程〕

平成28年3月16日（水）～18日（金）の2泊3日

〔視察先の特徴〕

- ・人口2,374人（H22国調）
- ・「なくてよい。大事なことはすべてここにある。」とする町の生き方として「ないものはない」を町のロゴマークに掲げている。離島の町で、サザエ、アワビ、岩ガキ養殖などの水産業と隠岐牛などの畜産業が基幹産業となっている。島まるごとブランド化に取り組む中、Iターン者に対する支援はない中、UIターン者が増加し塩や干しナマコづくりなど漁業者とIターン者の若者の協働による起業が促進されている。

〔視察のポイント〕

- ・島まるごとブランド化への取組経過
- ・UI ターン者の増加に資する関連施策の実態
- ・町民や関係団体と移住者の関わり方の実態
- ・水産業の産地6次産業化事業の実態
- ・「人づくり」と「モノづくり」施策の実態

〔視察による効果〕

- ・関係団体、行政間での先進地の取組みを共有
- ・新たな産業振興施策につなげるための仕組みの把握
- ・新たな人材を受け入れ活かす仕組みを把握

## (2) 徳島県神山町（かみやままち）

〔視察日程〕

平成28年3月15日（火）～17日（木）の2泊3日

〔視察先の特徴〕

- ・人口6,042人（H22国調）
- ・農林業を基幹産業とする徳島市に隣接する町。「くらし、アート、人々」をテーマとしたITベンチャー企業のサテライトオフィス誘致や人材誘致戦略としてのワークインレジデンスによる移住推進策に取り組んでいる。クリエイティブ人材を逆指名し地域に滞在させながら住民とともに美術作品を制作させるなど人をコンテンツとしたクリエイティブな田舎づくりが促進されている。

〔視察のポイント〕

- ・サテライトオフィス環境の実態
- ・ワークインレジデンスの始まり
- ・クリエイティブ人材の確保と地域資源の活用方法の実態

〔視察による効果〕

- ・関係団体、行政間での先進地の取組みを共有
- ・新たな企業誘致につなげるための仕組みを把握
- ・クリエイティブ人材の招聘の仕組みを把握

## (3) 北海道ニセコ町（にせこまち）

〔視察日程〕

平成28年3月16日（水）～18日（金）の2泊3日

〔視察先の特徴〕

- ・人口4,823人（H22国調）
- ・通年観光リゾート地として、日本国内のみならず国外からも多くの人が訪れる、サービス業と農業を基幹産業とする町。日本全国の自治体で初の自治基本条例となる「ニセコ町まちづくり基本条例」を策定し、住民

との情報共有化や住民参加型のまちづくりを制度として保障する。移住者や外国人が増加し平成 22 年国勢調査では人口増加率 3.3%となる。また、全国で初めての株式会社化された観光協会「ニセコリゾート観光協会」（第三セクター方式）の設立がされている。

〔視察のポイント〕

- ・移住者や外国人に対する移住定住施策の実態
- ・観光協会の株式会社化への取組経過
- ・株式会社の業務運営内容と行政の支援の実態

〔視察による効果〕

- ・関係団体、行政間での先進地の取組みを共有
- ・株式会社設立に向けた取組みを把握
- ・株式会社設立後の支援の取組みを把握

#### (4) 秋田県鹿角市（かづのし）〔社会福祉法人花輪ふくし会〕

〔視察日程〕

平成 28 年 3 月 18 日（金）～19 日（土）の 1 泊 2 日

〔視察先の特徴〕

- ・人口 34,479 人（H22 国調）
- ・社会福祉法人花輪福祉会は、現在、養護老人ホーム、2つの特別養護老人ホームと 4つの障害児者入所施設の 7つの施設と障がい者・高齢者それぞれの在宅支援部門を運営している。「障がい者・高齢者、地域住民・子どもたちが気軽に集まって楽しく交流し、お互いが支え合いながら生きがいを持って生活する」そのような場を「福祉コミュニティエリア」として推進し、「制度」では対応できないニーズに応える法人経営と高齢者・障がい者の就労の実現が図られている。

〔視察のポイント〕

- ・福祉コミュニティエリアの実態
- ・「制度」にはない地域ニーズに合わせた法人独自の取組み
- ・高齢者雇用の実態
- ・法人経営の今後の事業展開

〔視察による効果〕

- ・関係団体、行政間での先進地の取組みを共有
- ・法人経営の先進的取組みを把握

## 5 報告会

視察研修後、参加した普代村地域創生研究会メンバーによる、住民向けの視察研修報告会を開催。また、同日、追手門学院大学学生による普代村の人口減

少対策に関するプレゼンテーションも開催予定。

(1) タイトル

「普代村地域創生に関する先進地視察研修報告会と追手門学院大学の普代村人口減少対策に関する提言」

(2) 開催日時

平成 28 年 3 月 24 日（木）午後 6 時～（予定）

(3) 開催場所

役場 3 階大会議室

**6 予算額等**

2 款 1 項 1 2 目 学官連携で推進する「おためし U 愛 J ターン」支援事業(繰)

9 節 旅費 1,890 千円